

平成29年度		
氏名	いなだ 稲田 るい 隼	
生年	昭和63年生	
住所	愛媛県南宇和郡愛南町	
品目	河内晩柑（かわちばんかん） ・昭和10年に熊本県飽託郡河内町で発見された文旦の血を引く偶発実生の品種で、商品名は美生柑、宇和ゴールド、愛南ゴールド等 ・多収で甘さと程よい酸味、ジューシーな食感が特徴であるが後期落果が欠点 ・果皮に含まれるオーラペンに脳内の炎症抑制作用があり、認知症予防に有効とされる	
技術	耕種的栽培管理と落果防止剤の適期使用による河内晩柑の高位安定生産 ・7割以上が収穫前落下する河内晩柑を、着果状況に応じた施肥量の調整と早期摘果、刈草、落果防止剤の適期散布により安定生産（落果率10%未満） ・品種特性（短い結果母枝に結実）に応じた枝管理により、5,500kg/10aの連年安定多収を実現 ・国産の魚かすやカニ殻を主原料とする独自の配合肥料の使用と除草剤を極力控えた刈草施用、適期収穫、予措、微細孔フィルム個装での出荷を徹底	
活動状況	・子供の頃から祖父の果樹経営を手伝い、高校卒業後に果樹研究所口之津拠点の研修を経て20歳で就農、河内晩柑を主体に経営 ・5haの大規模経営で河内晩柑の割合は36%、他はポンカンや新品種「甘平」等 ・他産地からの組織的な視察研修、訪問を積極的に受け入れ	
相談に 応じられる 分野・内容	・かんきつ（特に中晩生かんきつ）栽培技術全般 ・河内晩柑の肥培管理、隔年結果・落果防止対策 ・河内晩柑の長期貯蔵技術 ・ポンカンの高品質安定多収生産技術	
受賞歴等	・昭和47年 日本農業賞天皇杯受賞（マルエム青果農協） ・平成21～22年 愛南町果実品評会で優秀賞受賞（1位） ※BS朝日の番組で「美生柑」を旬の果実として撮影放送	
主な役職	・平成25年～26年 愛南町農業後継者協議会 会長 ・平成27年 愛媛県青年農業者連絡協議会 副会長	
HP		

